

=市史編さん便り= 【1号】 令和5年4月14日(金) 発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

「第1回市史編さん・編集合同委員会」を5月29日(月)

14:00 より土佐清水市立中央公民館で開催予定！

『新・土佐清水市史』刊行までいよいよあと一年を切りました。三月末に刊行予定となります。本年度はその総仕上げの年となります。市史編さん員、編集委員、調査及び執筆の協力員、並びに関係者の皆様には最後の最後までお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

さて、4月10日付けにて標記合同委員会の出席依頼文書を編さん委員、編集委員、委託業者の皆様へ発送しました。連休明けのご多忙な時期と思いますが、万障お繰り合わせのうえご出席を何卒よろしくお願いいたします。

4月1日より「国立公園*ジオパーク推進課」が廃止となり、竜串に所在しているデジタルセンターの管理運営が「一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会」に移行となりました。よって令和6年3月31日まで市史編集委員に任命していた土井恵治委員と森口夏季委員に4月1日付けで新たに「委嘱状」が渡されました。

【日時】 令和5年5月29日(月) 14:00～16:00 司会 岡崎哲也編さん副委員長

(1) 編さん副委員長あいさつ (岡崎哲也教育長) 14:00～14:05

(2) 本年度事業の流れ (田村公利市史編さん室長) 14:05～14:45

(3) その他 14:45～14:55

(4) 閉会あいさつ (東近伸市史編集副委員長) 14:55～15:00

※会議終了後の15:00～16:00まで、該当編集委員は委託業者との校正原稿の確認作業を行う。

【会場】 土佐清水市立中央公民館2階・会議室

◎「遍路道丸太橋」と「市指定文化財標柱」等を設置！

3月16日、「高知県の遍路道プロジェクト」補助金により、金剛福寺道の真念庵周辺道の境内から南側に下った曲がり角に丸太橋を一本設置しました(写真1参照)。また、4月5日にそこから200メートルほど下った遍路道上に遍路道案内板(写真3参照)を一本設置しました。金剛福寺から打ち戻りで真念庵や延光寺に行くときや、逆打ちでお遍路さんが行くときに道に迷うことを防止するための設置です。

併せて、4月5日に下ノ加江五味神社前の「天災記念碑(大正九年豪雨災害)」(写真2参照)と中浜小南側の「今村鏡月の墓碑」(写真4参照)に土佐清水市指定文化財を示す標柱を設置しました。「今村鏡月の墓碑」は既に標柱があったのですが、経年劣化とシロアリの侵害で標柱自体が朽ちており、新たに立て替えたものです。

ここでこの機会に今村鏡月についてその概要を説明しておきます。鏡月は、京都土佐藩邸に勤務していたときに本居宣長に師事し、和歌の道を探求します。京都藩邸で小留守居役在任中に部下の藩金費消しの責任を問われて免職処分を受け、渡川(四万十川)以西への

追放処分となりました。以降、具同（四万十市）、下ノ加江（土佐清水市）と転々と居を移し、大浜（土佐清水市）の地で終焉を迎えます。地元大浜浦の庄屋・沖家や廻船商人・袋屋の支援を受け、医業と寺子屋を営み、なんとか命をつなぎました。

土佐藩による逝去後の再調査により、鏡月が無実であったことが証明され、死後の赦免が命ぜられました。

そこひなく 濁りつくしてからみ川

みなもと遠く 月はすみけり

鏡月(本名・楽〈たぬし〉)辞世の句



(写真1) 真念庵周辺遍路道の丸太橋



(写真2) 五味神社の天災記念碑



(写真3) 真念庵周辺遍路道の遍路道案内板



(写真4) 今村鏡月の墓碑

【編集後記】

早いもので本格的に「市史編さん事業」が実施され、5年目を迎えました。刊行まで1年を切りました。これから通史編のゲラ校正の仕上げ、資料編のゲラ作成と校正、目次や序文・例言の作成、掲載図版等の許可申請事務等々たくさんの事務が残っています。同時に市民への『新・土佐清水市史』内容の普及啓発も進めなければなりません。

恐らくは、壮絶な時間との闘争になることは間違いありません。どうか健康に留意され、最後の最後までご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。(田村)